

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 郡上特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年5月15日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 郡上特別支援学校 大和校舎体育館
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	板倉 寿明	愛知淑徳大学講師
副 会 長	水野 正文	郡上大和総合開発株式会社代表取締役社長
委 員	小澤 久美子	卒業生保護者代表 (欠席)
	石田 紀美江	郡上大和総合開発株式会社人事管理部長
	玉山 隆三	ダイアトップ株式会社代表取締役社長
	池戸 節子	郡上市社会福祉協議会相談支援専門員 (欠席)
	野田 美鈴	社会福祉法人ぶなの木福祉会理事長
	増田 雅幸	郡上市大和町栗巣地域住民
	山田 泰子	郡上市八幡町那比地域住民
	澤 奈央也	P T A会長
オブザーバー	森藤 文男	郡上市議会議員 (欠席)
学 校 側	守屋 朋伸	校長
	井原 誠	副校長
	牧野 康弘	事務部長
	瀧下 直子	教頭
	長井 奈月	小学部兼中学部主事
	金田 麻巳子	高等部主事
	深澤 文貴	教務部長 (教務主任)
	鷺見 智世	健康教育部長 (保健主事)
	平野 倫史	生徒指導部長 (生徒指導主事)
	島田 晃宏	進路指導部長 (進路指導主事)
	石原 貴子	地域連携部長 (特別支援教育コーディネーター)
	福田 はるか	研修主事

5 会議の概要 (協議事項)

(1) 令和6年度の学校運営方針について

意見1：学校運営方針について異議なし。

意見2：1校舎体制への整備について、地域住民は進捗状況を気に掛けている。移転候補地とされる地域の方々に対して、現状を説明できるとよい。

意見3：能登半島での震災を受けて、災害時に児童生徒をいかに守るかが課題となっている。道路が寸断された場合、保護者は迎えに来られない。学校とその周辺地域の方にお世話になることになるため、災害時に備えて、日頃から学校と地域の連携が必要である。

(2) 令和6年度の取組みについて

意見1：児童生徒の実態に合わせた指導が工夫され、熱心に行われている。

意見2：学校の雰囲気が明るい。

意見3：中学部生徒考案による「まめなかな定食」を道の駅古今伝授の里やまとで提供した。大変人気のメニューであり、地域の方も遠方から食べに来られた。今年度も活動に協力していきたい。

意見4：学校運営協議会の委員として、地域住民としても教育活動に協力したい。

意見5：今年度も教育活動のサポートを積極的に行っていきたい。例えば、鮎を焼くための台を当社で製作して寄付したい。

意見6：教育機関ができること、福祉施設ができることがそれぞれある。その中間部分を繋ぐのが社会の役割である。両親が先だった後でも障がいのある子どもたちが自立して、持続可能な収益を得られる仕組みづくりが必要である。

意見7：郡上地域の特別支援教育の推進役として郡上特別支援学校がある。支援を必要とする児童生徒を支えるのは学校だけではない。社会全体の点と点を繋ぎ、面にして支えていきたい。

(3) 作業製品の価格設定について

異議なし。中学部作業製品の価格設定については第2回に協議する。

6 会議のまとめ

全委員より今年度の学校運営方針、取組、作業製品の価格設定について承認が得られた。各委員より、忌憚のない多くの意見が出され、学校運営計画に積極的に協力したいという意見が多く出された。本日の意見を踏まえ、地域に開かれた学校として、地域の方々と連携して学校運営を進めていきたい。